

郡山に避難高齢者 宅へおかず箱配布

東京のNPO

東京のNPO法人日本臨床研究支援ユニットは十九日から二日間



富岡町の避難者におかず箱を届けるスタッフ

にわたり、富岡町から郡山市の借り上げ住宅に避難している一人暮らしのお年寄り宅などにレトルト食品五十種類が入った「おかず箱」を届けている。

町の委託を受けた支援ユニットの「医療支援プロジェクト きぼうときずな」事業。「おかず箱」は置き薬の食品版で、和洋中の総菜や汁物など健康やカロリーを考えた食品が入っている。お年寄りの安否確認をしながら配布している。

十九日はプロジェクト代表で福島市出身の大橋靖雄代表ら五人が三台の車に分かれて届けた。二週間後に一緒に配布したアンケートを回収し、健康づくり

に役立っているという。